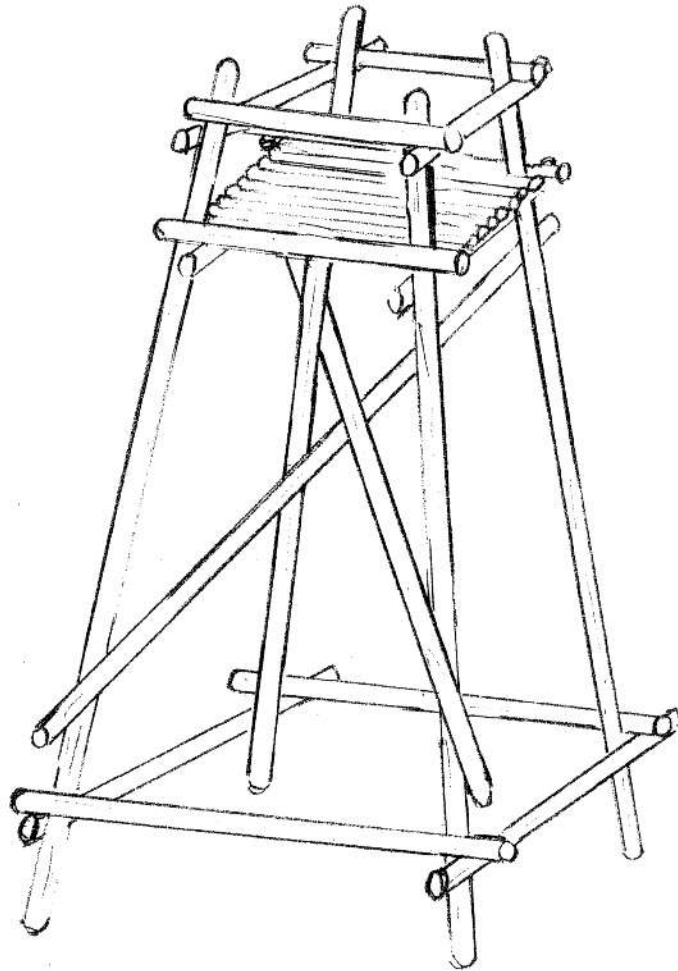


四脚信号塔



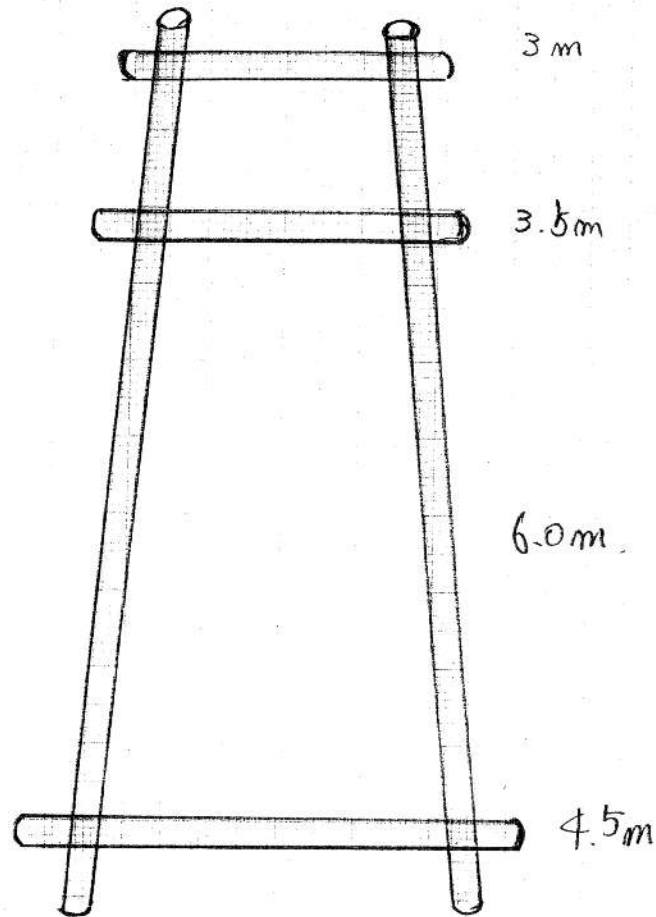
- ①、6.0m 丸太 4本
- ②、4.5m 丸太 4本
- ③、3.5m 丸太 4本
- ④、3.0m 丸太 4本
- ⑤、5.0m 丸太 2本
- ⑥、床材
3.0m 丸太10本又は
板、コンパネ
- ⑦、梯子材料
ロープ 10mX2本
横木 50~60cm 10本~12本

事前準備

次の結索法をマスターしておきましょう。
巻き結び、ねじ結び、角しばり、筋交いしばり、
てこ結び、いかだしばり(床結び)

役割分担

3~4人のチームが2組…両面を同時に進行します。
2人のチーム1組…梯子または縄梯子を作ります。
リーダー…各部の採寸と位置決めを行います。



製作工程①

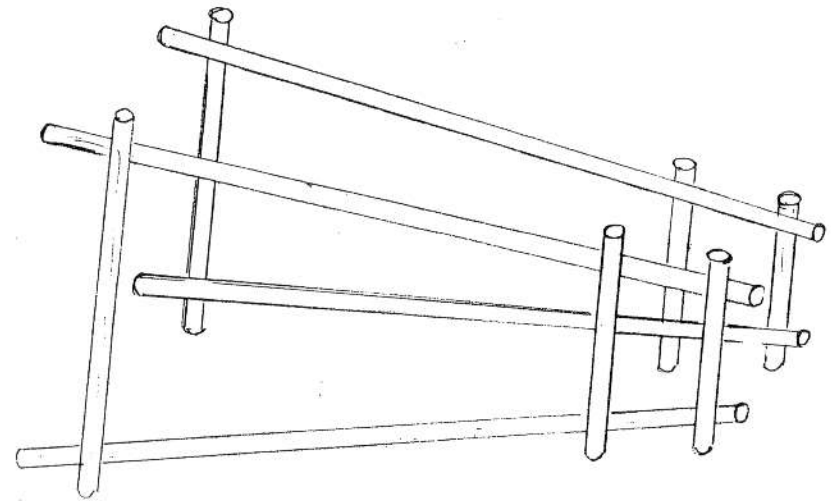
地面の上で側面の組み立てを行います。

※この時、丸太の下に「まくら」を置くと作業が容易になります。

2組のチームが同時進行で同じものを作ります。

※リーダーは正しい台形になっているかチェックします。

また、横棒の突きだし寸法もチェックし2組の作品が左右対称になる事に留意します。

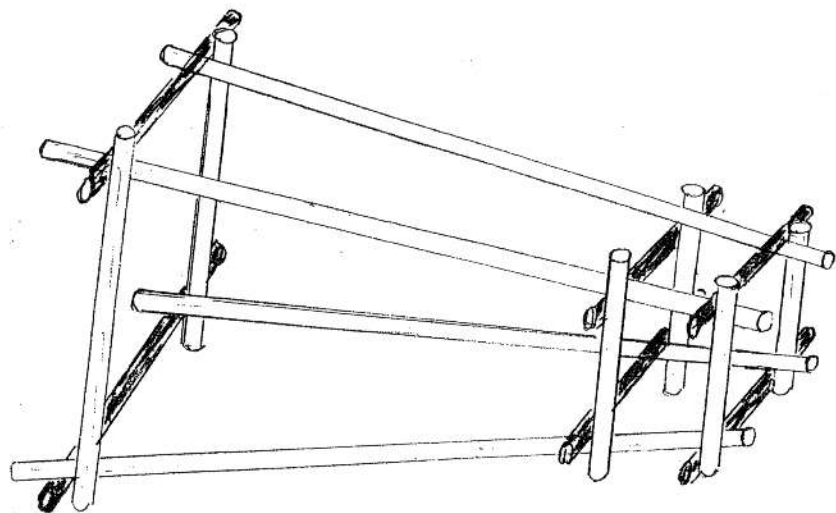


製作工程②

工程①で作った側面2つを横倒しの状態で立てます。

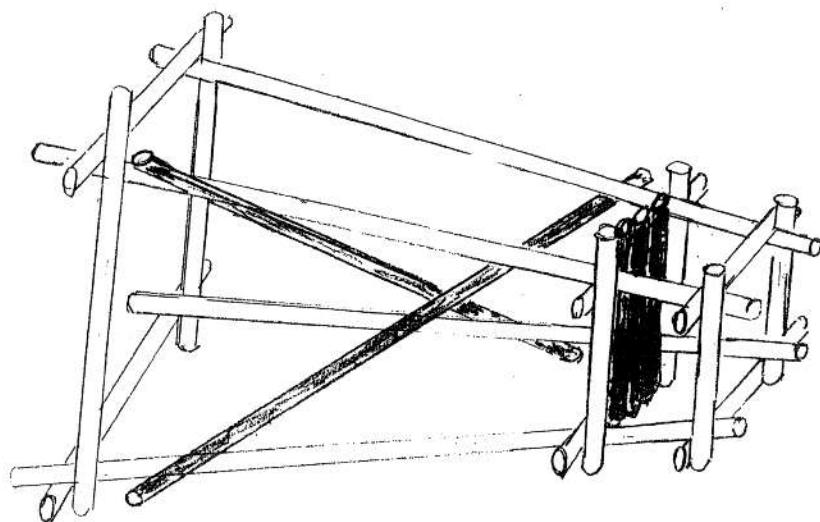
しばらくの間、4人で支えますが、作業人数が少ない場合は杭を打ってロープで支えます。

※この時、横棒の突出長が違っていると全体が歪みますのでマーキングの時、地面に着く部分の突出長を考えてください。



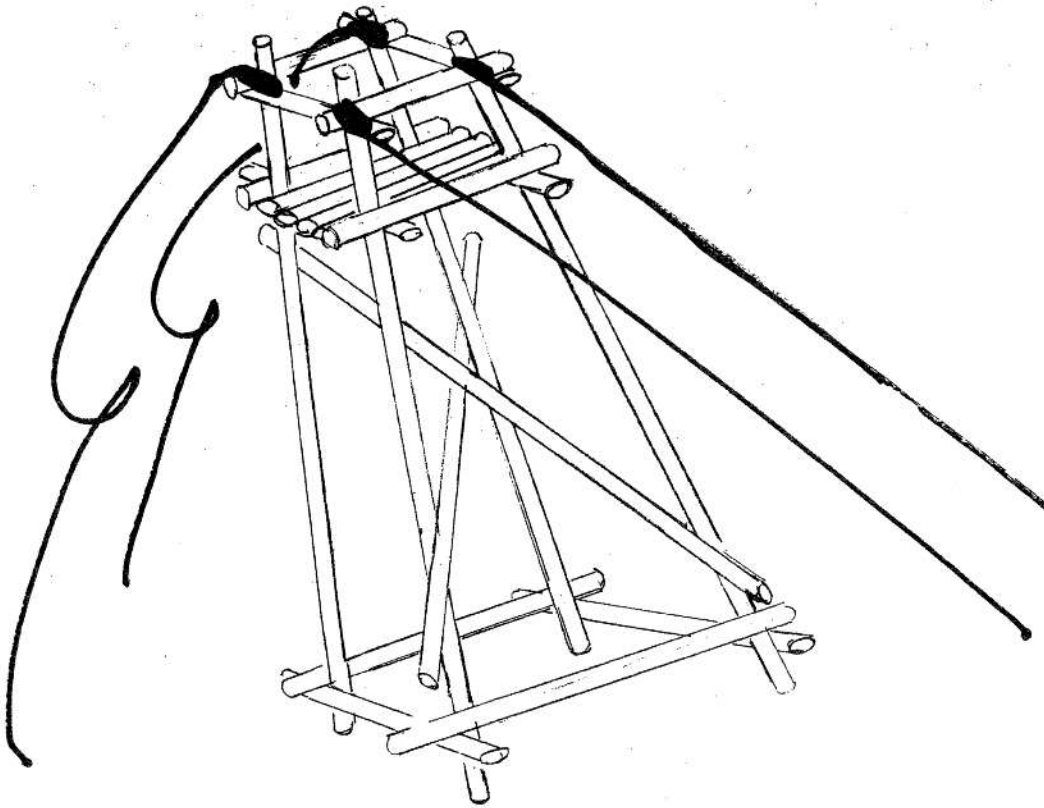
製作工程③

工程②の作品に図のように、横木を6本渡し角縛りで固定します。
※この時、各横木の突出長は、同一になるようにしてください。
※この時、真ん中の横木は、内側固定となります。



製作工程④

次に、筋交いと、上部の床板を取りつけます。
※梯子が完成していたら、取りつけます。



製作工程⑤

信号塔を全員で引き起こします。
※ロープと筋力で支えながら、衝撃を与えないようにします。
※各部の緩みやガタつきがないか確認します。
異常がなければ完成です。

解体の時に、事故がおこりがちです。互いに声を掛け合いながら安全に解体しましょう。